

## 121016 トリカブト

金剛山頂付近の「ちはや園地」で、「トリカブト」が咲いていました！

「トリカブト」は**猛毒**植物として有名ですが、全草（特に根）に強力なアルカロイドを含んでいますので、見るだけにしましょう。

「トリカブト」とは、花の形が**烏帽子**（えぼし）に似ていることから名付けられたのですね。

たくさんの種類がありますので、なかなか分類は難しいのですが、写真の種は「**カワチブシ**」ではないかと思います。

カワチブシの“ブシ”とは、漢方で薬として使われるトリカブトの球根のことだそうで、漢字では「**附子**」と書きます。

同じ**キンポウゲ科**の山菜である「**ニリンソウ**」の葉と間違えて、トリカブトの葉を誤食する事件がよく発生しています。

葉の形がよく似ていることがその原因のようですが、ニリンソウの花は早春に、トリカブトの花は8～10月頃に咲きますので、どうしてもニリンソウを食べたい方は、ニリンソウの花が咲いている早春に花と一緒に摘み取ることが無難でしょうね。

（今やいずれの種も「希少種」となってしまいましたので、できれば鑑賞するだけにしたいものですね...）

「カワチブシ」の近くに、同じくキンポウゲ科の植物がもう一種咲いていました。

落葉樹林内や草原などに生えるのですが、長い茎の先に15～30cmほどの穂状花序を出して、柄のある白い小さな花を密につけます。

名前は「**サラシナショウマ**」といますが、若葉を水にさらして食べたことに由来した命名のようです。

でも...

キンポウゲ科の植物には毒草が多いので、食べない方がいいと思います...

### 写真 ～ : カワチブシ(トリカブト)

8枚目の写真は、蜜を目当てに「**トラマルハナバチ**」が花の中にもぐりこんでいます。

### 写真 ～ : サラシナショウマ

11枚目の写真では、種子がではじめているのが見えます。





































